



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社 オロ  
代表者名 代表取締役社長 川田 篤  
(コード番号: 3983 東証第一部)  
問合せ先 専務取締役 日野 靖久  
コーポレート本部長  
(TEL. 03-5724-7001)

### 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年2月15日に公表した2021年12月期通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年12月期通期連結業績予想と実績値との差異(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,050	百万円 1,931	百万円 1,940	百万円 1,338	円 銭 80.63
実績値(B)	5,762	2,120	2,132	1,490	92.08
増減額(B-A)	△288	188	191	151	
増減率(%)	△4.8	9.8	9.9	11.3	
(ご参考) 前期連結実績 (2020年12月期)	5,240	1,707	1,713	1,182	71.19

#### 2. 差異が生じた理由

##### (1) 売上

クラウドソリューション事業においては、2021年1月の営業体制の変更に伴い、新規契約に要する期間が増加し、上半期に新規の契約数が伸び悩みました。下半期には回復基調になったものの、上半期の契約数の減少及びそれに伴う導入支援の売上減少を回収するに至りませんでした。

また、デジタルトランスフォーメーション事業においては、世界的な半導体不足による顧客側の予算削減の影響により、自動車業界に対する広告案件が減少しました。

その結果、売上高は5,762百万円となり、前回発表予想を下回りました。

##### (2) 利益

全社においては、業務の自動化推進の取り組みによる生産性の向上、ならびに想定していた人員計画が下振れし採用費が計画より減少しました。特に、デジタルトランスフォーメーション事業においては、事業部内のプロジェクト管理体制強化によって不採算案件の発生が想定以上に抑えられました。

その結果、営業利益は2,120百万円、経常利益は2,132百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,490百万円となり、前回発表予想をそれぞれ上回りました。